

2014年1月21日

各位

株式会社 TESS
 昭和リース株式会社
 株式会社新生銀行

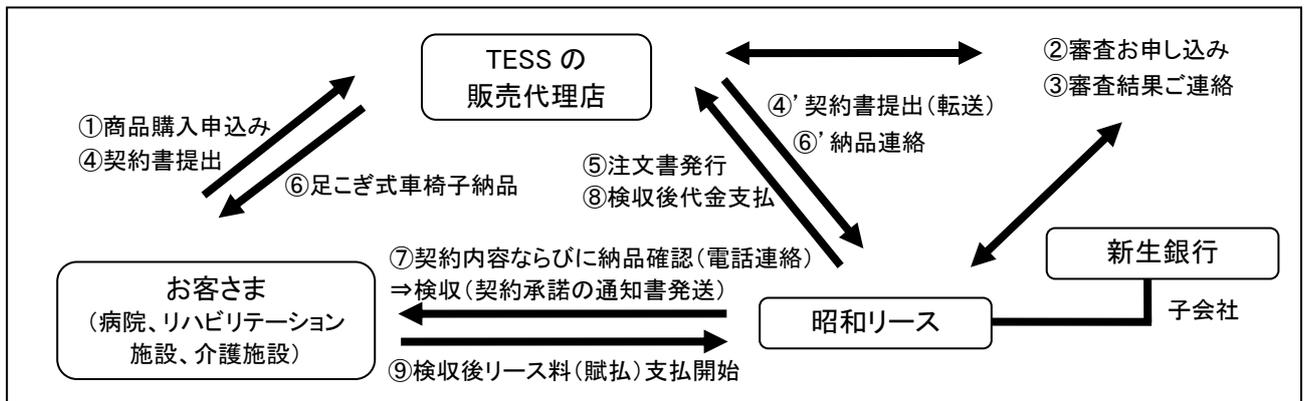
足こぎ車いす「Profhand」の販売促進に関する業務提携契約の締結について

株式会社新生銀行(本社:東京都中央区、代表取締役社長 当麻茂樹、以下「新生銀行」)の連結子会社、昭和リース株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 土屋明正、以下「昭和リース」)は、株式会社 TESS(本社:宮城県仙台市、代表取締役 鈴木堅之、以下「TESS」)と、同社が開発した足こぎ車いす「Profhand(プロファンド)」の販売促進に関する業務提携契約を2014年1月20日に締結いたしました。昭和リースでは、提携を受けて、「Profhand」の利用者拡大を目的にリースによる販売支援を開始いたします。

新生銀行では、グループ一体となり地域発新興企業の成長を支援しております。その一環として、TESS の足こぎ車いすの販売拡大に向けたサポートに取り組んでおり、今般の提携はその第一弾となるものです。また、新生銀行は、今般の提携を皮切りに、他の新生銀行グループ会社による個人向けの販売金融連携、さらには専門レンタル会社の設立なども視野に入れながら、新生銀行グループ一体でTESSの成長支援活動に取り組んでまいります。

高齢者の自立支援や寝たきり患者の社会復帰、介護者の負担軽減、また、「障害者も健常者も共に生活に希望を見出せる社会」の実現は、日本社会全体で取り組むべき課題となっています。TESS と昭和リース、新生銀行は、「Profhand」のリースによる取り扱いを通じ、高機能福祉機器の医療・介護施設への普及と、利用者拡大に取り組む、これらの課題の解決に寄与してまいります。また、昭和リースでは、今後も高い技術や優れた商品を持つ企業との連携を通じ、高機能福祉機器分野の市場拡大に注力してまいります。

【販売支援のスキーム図】



【足こぎ車いす「Profhand」について】

手で車輪を回す一般的な車いすとは異なり、片足のわずかな力でペダルをこいで前進することができる車いすです。脳梗塞などにより半身麻痺が残る方や、脊椎損傷などにより歩行が困難な方でも、片方の足を少しでも動かすことができれば操作することができます。また、「歩行反射」の運動により、自ずと麻痺が残る足の筋肉を使うことにも繋がるため、リハビリ機器・医療機器としても高い効果が期待できる画期的な商品です。国内では福祉機器として販売していますが、米国では医療機器として FDA の Class1 の認定（一般市場販売用は Listing Number D155387、医師の推薦で購入可能なものは K number K123076）を受けています。



【株式会社 TESS について】

株式会社 TESS は、東北大学発の研究開発型ベンチャー企業として、2008 年 11 月に設立されました。「障害者も健常者も共に生活に希望を見出せる社会」の実現に向け、手術や薬に頼ることのない、まったく新しい医療技術「neuromodulation（神経調節）技術」を普及させることを目指しております。歩行反射を活用した足こぎ車いす「Profhand」の設計においても、この「neuromodulation 技術」を採り入れております。今後も、東北発「neuromodulation 技術」の全世界への発信と、そこから生まれるビジネスモデルによる地域貢献を実現するため、企業や行政、大学との連携を強化していくこととしております。

以上